

令和8年3月28日(土)に開催した第2回目のテーマは、空間イメージを広げる「スケッチをしてみよう」でした。

< 講師 >

- 建築/デザイン murata 村田仁氏
- Scalla Architect 星田歩氏



最初に、講師の星田さんから住宅リノベーション事例を紹介してもらい、施主さんと一緒にアイデアを膨らませながら実際の使い勝手を考え実現化させていく過程を教わりました。

そして前回の「間取りを考えてみる」テーマを振り返りました。2回目からの参加メンバーにも間取りを考えてもらおうと、「衣食住を学べる寺子屋」など新たな面白い間取り案も！

桜の咲き始めた近所の公園で、交流を兼ねた休憩時間を過ごし、いよいよ次のテーマに取り組みます。

それぞれが考えた間取り案をもとに、一番見せたいポイントを中心にスケッチをしていきました。講師の村田さんから「少し角度をつけて描くといいよ」といったアドバイスをもらいながら、思い思いのスケッチを描きました。

そして共有タイム。思い描いた場面や家具、人々がどんな風に過ごすかなどがスケッチされ、間取りだけでは伝わりにくい風景が具体的にイメージでき、ワクワクを共有する有意義な時間となりました。



最後に、各部屋を仕切る襖を外してみることに。

あっという間に4つの部屋が一体となり視線が抜け、空間がガラリと変わり、驚きの声があちこちからあがりました！

★今年度のワークショップは、利活用イメージをもとに間取り・スケッチを描き、できる範囲で空間を変えてみることでさらに具体案へブラッシュアップできるという体感を得るものとなりました。

